

まちかど教室×EUIJ EU連続講座≪日本未来予想図はEUにある～EU理解からはじまる「アジア統合」の予感～≫

第1回■9/28「ホンネのEU統合入門 ～スコットランドの場合～」

ジョナサン・ルイス氏(一橋大学大学院社会学研究科・助教授)

第2回■10/5「ヨーロッパは憧れのままか ～教育・福祉・雇用～」

渡邊啓貴氏(東京外国語大学外国語学部・教授)

第3回■10/19「アジア旅行から『両替』が消える日?～アジア共通通貨単位AMUの誕生へ」

小川英治氏(一橋大学大学院商学研究科・教授)

第4回■10/26「じぶんで守るか、みんなで守るか ～アジア統合と安全保障～」

講師 田中孝彦氏(一橋大学大学院法学研究科・教授)

一橋大学の授業「まちづくり」を履修する学生たちの地域の活動拠点「NPO法人・人間環境キーステーション」では、大学と地域をつなぐ「まちかど教室」の一環として、EUIJと連携して4回連続講座を開講した。EUIJとの連携は、2005年1月にまちかど教室の講師となった小川英治教授が、市民との白熱したディスカッションをきっかけに「いつかEUIJと連携を」と持ちかけて下さったことにはじまり、2005年5月には山内進教授による『統合ヨーロッパへの道』を大学内で開講(市民・学生の参加者約100名)、今回はそれに続く企画となった。4回とも受講する熱心な方や、仕事帰りに駆け込む会社員の方、新聞掲載を見てぜひ受けて！と予約をする方などで、毎回ほぼ満員。第1回などは立ち見寸前の50名の参加者が詰めかけ「まちかど教室」過去最高の動員となった。講師の説明を聞きながら手持ちの本を照らし合わせたり、活発な意見交換をする参加者に対して、4回目の担当・田中教授からは「仕事帰りに講義を受けにこられる皆さんに敬意を表します」という言葉が送られた。また、第2回目には、来日中の欧州委員の方が、大学内での講演後に「まちかど教室」を来訪、「市民がEUに対してここまで関心が高いことが実感できて、感激している。今日参加できてよかった」と挨拶された。市民にとっても、国立にいなながらEUを身近に感じられる貴重な機会となった。講座が盛り上がり、終了後に先生を囲んでのサロンが催される回もあり、深夜まで、リラックスした雰囲気教授の話の聞いていた参加者は、大学時代のゼミに戻ったようだ、とほろりと話してくれた。